

# What IS IT?

●発行  
(財)九州システム情報技術研究所  
Institute of Systems & Information Technologies/KYUSHU  
〒814 福岡市早良区百道浜2丁目1-22-707  
(福岡S R Pセンタービル7F)  
Fukuoka SRP Center Building 7F 2-1-22,  
Momochihama, Sawara-ku, Fukuoka City 814, Japan  
TEL 092-852-3450 FAX 092-852-3455  
URL : <http://www.k-isit.or.jp>  
E-mail : koh@k-isit.or.jp  
印刷:(株)ドミックスコーポレーション

福岡にインターネット最新技術の実験場を創る

## 福岡オンライン認証実験WG活動中

福岡オンライン認証WG(ワーキンググループ)では、インターネットの新しい利用技術を実用化するために、ISITを中心に福岡地区で情報産業・銀行などの約20企業が自発的かつ共同でオンライン認証の実験を始めています。

### ◆これまでのあゆみ

ISITが立地するシーサイドももち地区は、福岡ソフトリサーチパークを中心光ケーブル網が地中化により整備され、インターネット技術の実験場としては全国でも最適な場所のひとつです。

このようなインフラの下で、昨年12月から3月まで3回のオンライン認証実験WG設立準備会を重ね、基本方針・組織構成・スケジュール・実験機器構成などについて協議してきました。

その結果、ネットワーク分科会と認証局分科会の2分科会を中心として実験を進めていき、勉強会も随時開催することにしています。

### 1.ネットワーク分科会

第1回 4月9日 実験ネットワークの目的について

第2回 6月16日 実験用ネットワーク(Momonet)の利用方針について

### 2.認証局分科会

第1回 4月23日 実践デジタル認証入門(原理編)

第2回 5月12日 実践デジタル認証入門(システム構築編)

### 3.勉強会(チュートリアル)

第1回 4月23日 電子マネーの技術動向と課題

第2回 7月7日 インターネットセキュリティ

### ◆今後のスケジュール

今後、8月1日(金)にSRPホールで電子マネーのチュートリアル、当WGの報告、パネルディスカッションなどからなる地域型認証実験シンポジウムを開催し、予備実験から本格実験へと移行していく、本年12月にはWGの成果のめどをつける予定です。



WGの中心であるISIT山崎研究員



第2回ネットワーク分科会

## 新理事長 ごあいさつ



田中進

21世紀を目前にしている今日、経済活動のグローバル化、アジア諸国の成長や国内におきましては製造部門等の海外進出に伴う産業の空洞化、更には流通・サービス業の効率化など、国内外の経済システム全体が大きな転換期を迎えております。

このような経済環境の中で、産業・経済はもとより、社会のあらゆる分野における新しい社会システムの構築のために、コンピュータ関連技術の一層の進展が求められているところであります。

九州システム情報技術研究所は、次代のリーディング産業といわれております情報産業の発展のため、公的研究機関として地域の情報関連企業の皆様方の技術力・研究開発力の向上に資するべく、積極的な事業展開を図ってまいります。

甚だ微力ではございますが、活力ある地域経済社会の実現に向けて、力を尽くしてまいりますので、皆様方のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

\*6月16日付で田中進九州経済同友会代表委員が新理事長に就任しました。

## レポート① [平成9年5月10日(土)~13日(火)] 「'97テクノフロンティア九州」出展

5月10日(土)~13日(火)4日間、第30回アジア開発銀行(ADB)福岡総会の記念事業として、博多区中央埠頭のマリンメッセ福岡で「'97テクノフロンティア九州」が開催されました。

当日会場は、環境エネルギー・社会基盤ゾーン、情報化ゾーン、環境エネルギーゾーン、テクノ交流ゾーンの4つに分かれ、159社・機関の出展がありました。

ソーラーカーの模型工作教室やプリクラなどの人気コーナーでは長い行列ができ、屋外でもソーラーカー試乗会等が行われました。12日に行われた韓国・台湾・香港・マレーシア・タイの5か国18社と日本企業の「アジア・九州ビジネス商談会」も盛況で、期間中総数5万人を超す入場者がありました。

ISITも情報化ゾーンに出展し、研究所案内パネルの展示とともに、パソコン4台を使って、来場者にインターネット無料体験をしていただきました。

週末には、子供や中高生が多く訪れ、インターネットでホームページを見たり、おもしろいゲームソフトを探して遊んだりする姿が目につきました。両親も一緒になってパソコンに熱中する家族もありました。



'97テクノフロンティア九州の会場



子供たちでぎわうISITブース

平日は、一時雨にたたられ、客足も伸び悩みましたが、ビジネスマンや出展企業関連の社員などの入場も多く、ISITに関する具体的な質問を受けました。

## レポート② [平成9年6月16日(月)] 第4回ISIT技術セミナー 「インターネットの課題」

6月16日(月)午後SRPホールで、第4回ISIT技術セミナー「インターネットの課題—インターネットの仕組みと電子メール」を行い、103名の方が参加されました。

会場ではインターネットに関する質疑応答が交わされました



講師には、インターネットの第一線で活躍中の奈良先端技術大学院大学情報科学研究科平原助教授・山本助手を迎えるました。このセミナーでは、一般企業に加え、九大・九工大・福大・西南大・九産大・福工大・東海大など多数大学からの参加があり、インターネットへの関心の高さに驚きました。

第1部として、米国のインターネット研究機関Merit Networkにも籍がある平原助教授が、インターネットの仕組みについて、アドレス枯渇の問題、ドメイン名の紛争、プロバイダーの選択方法など具体例を交えながら解説されました。

特に、現在検討中のIPv6(Internet Protocol Version 6)への移行時期や現行のIPv4の将来的な扱いには強い関心が寄せられました。

第2部で山本さんは、インターネット・メッセージの動向と課題について電子メールにおける様々な誤解(電子メールの標題に日本語は使えない等)やプライバシー保護強化方法を語られました。



「インターネットの仕組み」  
平原講師



「インターネット・メッセージ」  
山本講師

# 福岡オンライン認証実験 WG —背景と内容—

1面で紹介した「福岡オンライン認証実験 WG」について、背景・基本用語およびその内容をQ&Aも交えて解説します。

## \* WGの背景

コンピュータネットワーク社会では、自宅にいながらお金の出し入れや商品売買ができるなど便利な環境が実現可能ですが。しかし、他人へのなりすまし、データ改ざんなどの不正も発生します。不正を防止し、より良いネットワーク環境を構築する目的から暗号技術を使ったオンライン認証実験を行うことにしました。

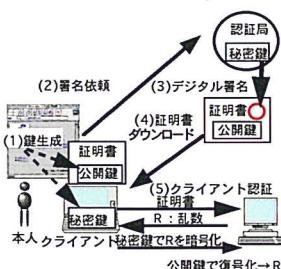
## \* オンライン認証とは？

コンピュータネットワーク上で相手の確認、自分が本人であることの証明をする手段のことで、プライバシー保護、安全な売買を行うのに不可欠なものです。

## \* デジタル証明書

現在のところ、実用的なオンライン認証システムは暗号技術を使ったものです。公開鍵と秘密鍵を使うデジタル証明はパスポートのように自分がその本人であることをネットワーク上で証明するものです。

### 《個人用デジタル証明書の発行と利用手順》



## \* 認証局

デジタル証明書を発行する機関が認証局です。世界的にはIPRAという認証局を頂点に、日本ではICATという認証局があり、この実験のISIT認証局は、ICATから認証を受けました。つまり、ISIT認証局もIPRAを頂点とする世界規模の認証インフラの一部になるわけです。

## \* 実験企画例

・軽量型電子決済プロトコル

・社内文書決裁システム

の2案をISITは提案しています。たとえば、前者は既存の銀行オンラインシステムを利用して、パソコンを使い簡単な形でしかも安全に決済を行うものです。

## \* 分科会への参加企業

現在、福岡銀行・西日本銀行・福岡シティ銀行、日立・富士通などのメーカー、ジャストシステム、システムラボトリー・シティアスコム・ドットアスター・アクセス等の地場情報関連企業など約20社と個人数名が分科会に出席されています。

## \* Q&A

### Q1：今までの活動でわかったことは何ですか？

A1：各企業によって、実験に対する興味が違う点、本格実験参加意志決定のための社内手続き・判断基準が異なる点などが主なものです。したがって、個人参加など参加形態を増やす、実験参加のスケジュールを柔軟化するなどの解決策を打ち出しました。

## Q2：将来、この実験はどうなっていくのですか？

A2：分科会や勉強会を適宜開催して、疑問点を明確にし討議を重ねいくとともに、月1回ニュースレター形式で活動状況を公開しています。(下図参照) また、各企業に認証技術を用いた様々なシステムの実験を行うように勧めています。このWGは、将来的には福岡市や国などのより大きなプロジェクトに組み込んでいただけるよう働きかけていくつもりです。

## \* ニュースレター発行(月1回)



本ニュースレターをご希望の方に無料で送付いたします。

## \* 問合せ先

(財)九州システム情報技術研究所

第2研究室 山崎重一郎

Tel: 092-852-3454

E-mail: tonton@k-isit.or.jp

<http://www.k-isit.or.jp/dccf/>

最近、デファクトスタンダード(de facto standard)という言葉を時々見聞きします。これは事実上の標準(業界標準)ということです。つまり、公的機関が標準として定めたものではありませんが、市場競争により大きなシェアや多くのユーザー・使用実績を獲得し、業界の事実上の標準的地位を占めた規格(技術)や製品などがこれに相当します。消費者や市場が決める標準とも言えます。

技術革新が目まぐるしい情報技術分野では、時間がかかる公的規格を待たずに、企業グループや技術者グループがある統一規格を先に普及させ、それが業界標準となるケースが

## 情報キーワード デファクトスタンダード

多くなっています。

業界標準の座を獲得すれば、市場で支配的な地位を得られることから、企業の技術戦略上、重要なテーマともなっており、規格の意図的な情報公開が盛んになっています。

デファクト(de facto)とは、英語のつづりとしてはおかしいようですが、ラテン語からきています。

最近の具体例として、米マイクロソフト社

の基本ソフトWindowsなどがあります。また、現在ネットワーク用プログラミング言語Javaが注目されています。

しかし、技術革新や市場競争が激しい現代では、いったんデファクトスタンダードの地位を確保しても安心してはいられないのです。今後は消費者も成熟していく、要求も多様化していくので、それぞれに特化したデファクトスタンダードが発生していくでしょう。(国生)





## 第5回ISIT技術セミナーのお知らせ

偶数月に開催している定期交流会のほかにISIT技術セミナーを年3回程度実施しています。これは、様々な技術的テーマに関する講習会です。

次回は今話題のモバイルコンピューティングを予定しています。

■日 時 平成9年10月8日(水)午後1時半～5時半

■会 場 福岡SRPセンタービル2階 研修室1

■テーマ 「デジタル移動体通信技術とモバイルコンピューティング」

■講 師 九州大学大学院 システム情報科学研究科 教授 赤岩 芳彦  
NTT移動通信網(株)(NTT DoCoMo) 研究開発部部長 中嶋 信生

■締 切 平成9年10月6日(月)

参加費は2,000円です。どなたでも気軽に参加できます。

詳細はホームページ等でお知らせします。

お問合せ・申込みは事業部まで

TEL:092-852-3451 FAX:092-852-3455 E-mail:koryu@k-isit.or.jp

担当:鬼木、国生



## 平成8年度ISIT活動報告書配布中！

一昨年12月研究所設立からの活動状況をまとめた平成8年度ISIT活動報告書が完成しました。

報告書は、研究開発、交流、情報収集・提供等の諸事業活動実績を収めた集約版とさらに研究論文等の資料集を加えた正版の2種類を作成しました。

ご希望の方は、下記までお問い合わせください。

TEL:092-852-3460 FAX:092-852-3465

E-mail:cons@k-isit.or.jp 担当:研究企画部 川根



## 新スタッフ紹介

4月以降、異動・新規採用に伴い、新たに7名がスタッフとして加わり、総勢32名となりました。

所 属	氏 名
理 事 長	田中 進
総 務 部 長	砂田 八郎
研 究 企 画 部	牛島 好美
研 究 助 手	井上 昭彦
研 究 助 手	廣瀬 啓
研 究 助 手	持尾 弘司
第 2 研 究 室	坂本久美子



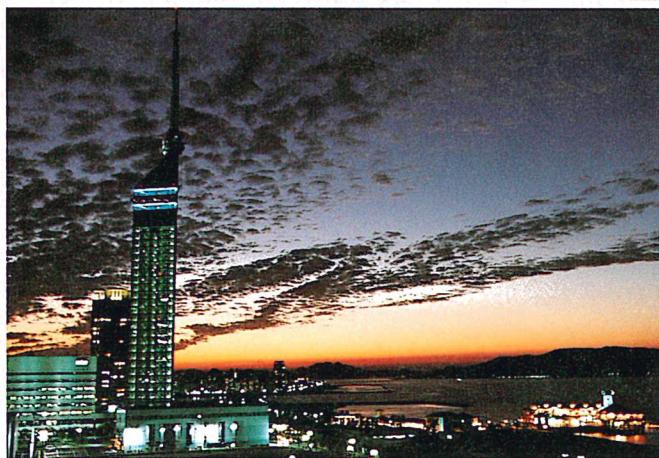
## 新賛助会員紹介

[法人会員] 日立超LSIエンジニアリング(株)九州開発センター

[個人会員] 中島 一隆

法人会員63社、個人会員10名となりました。

## ももち発見④シーサイドももちの夜景



シーサイドももちには、人工海浜・マリソン・福岡タワーなどがあり、夜景もすばらしくデートスポットになっています。特に、能古島に沈む夏の夕陽の美しさは感動的です。

福岡タワーの夜のイルミネーションは、天の川・クリスマスツリー・バレンタインのハートマークなど季節にあわせて変化します。今年の春にはアジア開発銀行福岡総会を記念して、ADB福岡総会のマークが灯りました。



## 賛助会員募集中

### ◎賛助会員の特典

1. 研究所主催の講演会・セミナー等への参加案内
2. 研究所発行の活動報告書・広報誌などの刊行物の配布
3. 研究所保管の情報関係資料などの閲覧
4. その他情報技術に関する相談、情報の供与

### ◎賛助会費

年会費 法人会員1口 6万円

個人会員1口 1万円

※入会手続の詳細問い合わせは、総務部へ

TEL 092-852-3450 担当 橋本、木下

### 編集室より…第六号

「インターネットが社会に浸透していくと、これから世の中はどうなっていくのだろうか?」研究者として私たちはいつもそういうことを考えていました。

おそらく、技術開発においてもビジネスにおいても、この問いを正しく予測し理解した者が成功者になるのでしょうか、未来のことを正しく予測するというのはなかなか難しいことです。

しかし、未来は自分たちが何をするかによっても変わってきます。九州システム情報技術研究所は、おそらく福岡の未来の一部を担っているのではないか、あるいはそうなることを期待されているのではないかと思います。

そういう将来へ向けての活動の一

つの現れが「福岡オンライン認証実験WG」です。インターネットの上で経済活動や社会活動を行うときに、確実に相手を認証し、また自分が本人であることを証明する手段を社会インフラとして築くのが、このワーキンググループの目的です。

この活動を通して次第にはっきりとわかってきたことは、「この新しい社会インフラを作るために必要なものは新しいテクノロジーでも巨額の資金でもなく、地元に根をおろしたしっかりとしたコミュニティーだ」ということです。福岡の将来は福岡の地元のコミュニティーが支えるということです。面白い世の中になってきたなという実感があります。



(第2研究室 山崎)